

Rosally (ロザリィ)

Kimono Dancer

-Elder Armswoman-

今は魔法工房の防衛任務に戻っている。
師匠の Andrew 以上に、沼地の大物とも戦えるようになったのだ。

Andrew を一方的に師匠として追い回すうちに、工房に住み着いた。それまで工房では使い手がいなかったメイス武器を専門としており、ほこりを被っていた それらの武器を嬉々として振り回している。元々は徳之諸島の武門の生まれだが、敢えて名を Rosally とブリタニア風に名乗っているらしい。侍として育った彼女は、Andrew を追ってマラスで騎士としての訓練も受けており、戦闘力という意味では、侍 Gazel(武士) や Andrew(騎士) を遥かにしのいでいる。

緑の着物と帯は Melody 作。頭には兜という これまた異様ないでたちだが、本人はあまり気にしていない。最近、徳之諸島から持ち帰られた Wind's Edge を手に、まさに舞手となって敵を叩きのめすことができるようになった。沼地で出現する全てのモンスターを余裕で倒すぐらいには成長している。

数々の戦闘アビリティを使いこなすことで、実力以上の戦いを見せるため、沼地にある 2 工房のうち、かつて沼地にあったところの職人工房の安全確保を Andrew から託され、Lady になるまで戦い抜いた。その後 職人工房は沼地よりは遥かに安全な北極に転居したため、今は魔法工房に常駐して安全確保を行うメイン要員となっている。

「武士道」Tatsusjin(Elder のこと)、「棍術」Elder、「解剖学」「戦術」に続き「受け流し」も GM まで上げて、いよいよ「武士道」の見切り能力も冴え渡ってきた(弱体化はしたが)。「騎士道」は 65(アクセサリで 75 までは上げた)、「治療」を 90 で上昇をストップさせている。「受け流し」は PS110 導入済みなので、もう少し上がる余地はあるのだが、スキル構成的にはなかなか悩ましい。「集中」の比重を抑えて、現状の方針のまま「武士道」「受け流し」を上げていくことになるかは考えている。

余談だが、「棍術」の職業称号は「armsman」だが、Rosally のように女性の場合は、きちんと「armswoman」になる。意外なところで UO は芸が細かい。

TOS の PC~(戦士系 1)	TOS の PC~(戦士系 2)	TOS の PC~(魔術師系)	TOS の PC~(使役系)	TOS の PC~(非戦闘系)	ふるーの PC
<u>Andrew~Velzette</u>	<u>侍 Rosally~Azet</u> <u>Gazel~Kurogane~Orc</u>	<u>魔術師 Ordazel~Clouse</u>	<u>テイマー Gazel~Lilian~Michel</u>	<u>Sherria~Randelt~Ric</u>	<u>Melody~Mami</u>

(工房の面々のトップに戻りたいときはこちらをクリック)